

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

319号

2017年9月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 朝米関係の正常化は時代の流れ

今年に入り北朝鮮のミサイル発射実験に米国が危機感を募らせており、日本政府も北朝鮮の脅威を声高に叫んでいる。マスコミもこぞって北朝鮮の脅威論と制裁圧力を支持する論を展開している。しかし、経済的制裁や軍事的圧力では北朝鮮の核実験やミサイル開発を止めることはできない。北朝鮮は自国の自主権を守る闘いをしており、一方的な報道からでは問題の本質が見えてこない。それどころか間違った判断や認識が刷り込まれ「北朝鮮は怖い国！ 敵国！ 悪の国！」と言ったプロパガンダが形成される。北朝鮮はなぜ、核開発やミサイル開発をする必要があるのか？なぜ？

朝米は敵対関係にあるのか？いつから続いているのか？なぜ朝米は国交正常化ができないのか？疑問は次から次へと出てくる。日本のマスコミ報道からはその答えが見えてこない。その

陰で安倍政権は、北朝鮮の脅威を口実に着々と日本の軍事力を増強（現在世界第7位）しており、戦争のできる有事立法を次々に国会を通過させるなど、その動きは警戒しなければならない。

他方、7月29日に文在寅（ムン・ジェイン）政権がサードミサイルの追加配備を容認したことに對し、韓国国内でも熾烈な反対闘争が展開され、北朝鮮も「文政権に失望した」と声明を発表するなど、南北関係に暗雲が立ち込め始めたことは非常に残念なことだ。

北朝鮮が核やミサイルを持たなければならない状況を作ったのは米国の政策の失敗と言っても過言ではない。米国は1953年7月27日の休戦協定締結後、北朝鮮を脅威の対象とは感じず、冷戦時代、一貫して朝米関係改善を無視し続けてきた。その一方、朝鮮半島有事を想定した韓米合同軍事演習を強行し、北朝鮮に威嚇と脅威を与え続けてきた。それこそが北朝鮮の核・ミサイル開発

をもたらす結果となった。

韓米両国は北朝鮮との戦争を想定した韓米合同軍事演習は即刻中止しなければならない。しかし、今年も8月21日から韓米合同軍事演習「ウルチフリーダム・ガーディアン」が始まり、米軍のハリス太平洋軍司令官ら米軍首脳3名がそろって訪韓した。22日の記者会見でハリス司令官は「北朝鮮への軍事的対応はできているが、話し合いによる外交的解決が望ましい」との声明を発表して異例な対応を見せた。この発言の意味は大きい。



▲平和協定締結などを訴える韓国民衆

朝米は一発触発の状況であり、一歩判断を間違えれば取り返しのつかない事態になることを示唆している。これに對し北朝鮮は「戦争狂気をいっそう鼓吹している」と米軍首脳の訪韓を非難、26日・29日と立て続けにミサイル発射実験を行った。

トランプ政権は経済的・軍事的圧力ではなく、中国・ロシア

が言っているように対話で問題を解決する以外にない。そのためには米国自身が対北政策の変更を真剣に、かつ早急に実効性を持って進める必要がある。まず休戦協定を平和協定に、戦争を防止する枠組みの話し合い、朝米国交正常化に向けた協議の開始、核廃絶に向けた世界的規模への枠組み作り、そのための朝米2者会談の実現。それが無理ならば、周辺国家による朝米関係正常化に向けた協議体を早急に開催することだ。そして、この協議体の橋渡し役を文在寅大統領が担うことができればベストだ。7月7日にドイツで発表した「新朝鮮半島平和ビジョン」を文大統領が本気で考えているなら、自国の自主権を米国に任せるのではなく、自らが南北の自主的平和統一を実現するために朝鮮半島での有事を絶対に阻止しなければならない。キャンドル革命で誕生した文在寅大統領こそだからできることだ。文大統領への期待は決して小さくない。（寿）

## 朝鮮半島情勢の認識を深め、 韓青故国訪問団の意義を共有する 光復72周年関西地域集会

日本帝国主義から解放されて72周年を迎え、韓統連関西協議会主催で「光復72周年 祖国の平和統一、南北関係発展のための在日韓国人関西地域集会」が8月13日(日)、尼崎中小企業センター(兵庫県尼崎市)で開かれた。

集会では初めに、今年6月に逝去された郭東儀(カ・トウイ)韓統連中央本部最高顧問と金昌秀(キム・チャンス)韓統連大阪本部副代表委委員への黙禱と追悼映像が上映された。

次に崔孝行(チェ・ヒョハン)韓統連兵庫本部代表委員が主催者挨拶を行い「72年前、わが祖国は日帝の植民地支配から解放されたが、直後に南北に分断され、わが民族の自主権は奪われたままだ。一日も早く民族の自主権を取り戻し、祖国統一を実現しよう」と語った。



▲情勢講演を行う孫亨根議長

続いて、孫亨根(ソン・ヒョングン)韓統連中央本部議長が情勢講演を行った。孫議長は5月に発足した文在寅政権について「キャンドル革命で訴えられた積弊清算に向けては実践しているが、対米・対北政策に関してはキャンドル(民心)に応えられていない」と評価した。

そして、現在の朝鮮半島における軍事緊張について「軍事緊張を解消するためには、21日から始まる韓米合同軍事演習と北朝鮮のミサイル発射実験を同時に中止して、朝米が対話を開始しなければならない」と訴えた。

講演後は、12年ぶりに訪韓する「光復72周年韓青故国訪問団」について、李俊一(イ・チュニル)韓青中央本部副委員長から報告を受け、訪韓事業

の意義などについて認識を共有した。

その後、各団体代表の決意表明と決議文が採択され、最後に金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が閉会挨拶を行い、光復72周年関西地域集会は終了した。

## 軍事緊張が続く朝米関係など、 活発な討論を行う 韓統連生野支部情勢学習会

韓統連生野支部主催による情勢学習会「切り開こう！朝鮮半島の平和と南北和解の道」が8月20日(日)、韓統連生野支部で開かれた。



▲情勢報告を行う金昌範代表委員

学習会には生野支部会員などの参加者が集い、韓国では文在寅大統領が誕生して100日、北朝鮮のICBM(大陸間弾道ミサイル)発射実験の成功、それに対して国連安保理が北朝鮮に対する更なる制裁の決議、21日からは韓米合同軍事演習が強行されるなど、朝米関係が極度に緊張する中、朝鮮半島を取りまく情勢について、金昌範(キム・チャンボム)生野支部代表委員が情勢報告を行った。

その後、参加者から積極的な質問や意見が出され、現在の文在寅政権に対する成果や問題点、対北政策などについて討論するとともに、とりわけ緊張する朝米関係について、軍事的衝突ではなく、対話によって平和的に問題が解決されなければならないことを確認して学習会は終了した。



## 【感想文】 光復72周年韓青故国訪問団に参加して

韓青京都本部委員長 韓成祐(ハン・ソウウ)

8月14日～16日の日程で、12年ぶりに「韓青故国訪問団」が実現しました。今号では訪問団のメンバーとして参加した、韓成祐 韓青京都本部委員長に感想文を書いて頂きました。

今回、私は光復72周年の機会に「光復72周年韓青故国訪問団」として韓国を訪れました。訪問団が組織されるまでの経緯は省略しますが、歴史的に意義深いタイミングで訪問団として参加することに、多くの先輩・同志から出発前に激励を頂きました。

韓国に到着してからは、常に韓国青年連帯と6.15青年学生本部が帯同してくれました。韓国青年連帯は、かつて韓青と姉妹結縁を結んでいた国内団体の後継組織であり、先のキャンドルデモを先導した韓国進歩連帯の青年組織です。光復節行事で国内はいつも以上に多忙な中、3日間帯同してくれたことに、あらためて深い同志愛を感じました。

初日は夜に光化門広場で開かれた、どれも青年学生が主催する3つの集会に連続して参加しました。そこで見た青年学生の姿はたくましく、南北関係をはじめ積弊清算、THAAD(サード)ミサイル配備反対、良心囚釈放、軍事演習反対など、韓国社会が抱える矛盾を主体的に解決していこうという固い決意が感じられました。また民衆歌謡と若者にウケがいいポップミュージックを交ぜながら「楽しい空間」を作ろうとする試みは、組織に若者を呼び込む良い方法だと思いました。

15日は、6・15南側委員会の8・15民族統一大会、韓国青年連帯の自主独立宣言、ソウル市庁前広場で開催された8・15汎国民大会、その後の1万人駐韓米国大使館デモに参加しました。

米国大使館デモはすさまじい熱気で、今後、国内で反米自主闘争がより高まることを実感しました。前日の行事でもそうでしたが、韓青故国訪問団は全ての参加行事で紹介され、青年学生の集会と8・15汎国民大会では発言の機会も頂きました。あらためて思い返すと国内の運動と私たちが共にできたのは、これまでの私たちの運動が正しく評価された証明であると思います。

訪問団に参加した仲間が「活動している中で、こんな主張をしているのは私たちだけではないかという孤独感を感じる事があった。でも今回の訪問団でそれが違うということが分かった」という感想を言っていました。私も同感で、日々国内の情報に触れていても、

それと現実に横たわる問題との間では温度差を感じる事が少なくありませんでした。しかし、今回の訪問団では保守政権下でも果敢に闘い抜き、在日同胞や日本の方々を訪れ、韓国の闘争を伝えてくれた同志との再会がありました。そして、光復節集会に参加した全ての人が韓青の12年ぶりの訪問団を熱烈に歓迎してくれました。今回の訪問団を通じて、私たちが自主・民主・統一運動を担っていく役割は、今後より高まっていくだろうと感じ、また先鋒隊として青年を率いてまい進する決意をしました。

末筆になりますが、今回の訪問団事業を激励して頂き、支援して下さった全ての先輩・同志に感謝申し上げます。今後も叱咤激励のほど、よろしくお願ひします。



▲仁川国際空港で歓迎を受ける韓青故国訪問団  
向かって右端が韓成祐委員長

## 【訪韓報告】 駐韓米国大使館前で「米国の戦争政策反対」などを訴える 日韓平和連帯事務局長 垣沼陽輔

日韓平和連帯訪韓団が8月14日～16日、韓国を訪問して「8・15汎国民大会」などに参加しました。今号では訪韓報告を、日韓平和連帯事務局長の垣沼陽輔さんに書いて頂きました。

米国のトランプ大統領は、朝鮮民主主義人民共和国による核開発やミサイル発射実験を口実に、経済制裁の強化や朝鮮半島での戦争もいとわないという発言を繰り返し、朝鮮を挑発しています。

日本では安倍政権が朝鮮の脅威を煽り、日本にミサイルが飛んでくるような印象を国民に与えています。このように緊迫した朝鮮半島情勢のもと直接韓国を訪問して、日本からも平和を希求するアピールを伝えるため、日韓平和連帯は8月14日～16日まで、山元一英共同代表を団長に17名がソウルを訪問しました。

ピースキャラバン隊9名は8月11日に大阪を発ち、12日に関釜フェリーで13日に釜山港に到着し、木浦新港でセウォル号を見学した後、14日にソウルで航空機の7名と合流しました。



▲西大門刑務所跡を見学する

8月14日は金浦空港到着後、車でソウル市内に移動、全斗煥(チョン・ドゥファン)軍事独裁政権時代に活動家や学生などを不当に逮捕して、取り調べを行うための南営洞・対共分室ビルを見学しました。外観からは普通のビルに見えますが、5階部分だけは窓がなく、明かり取りがあるだけで、この階に拷問室がありました。1987年6月民主抗争の導火線になったソウル大学生朴鍾哲(パク・ジョン Chol)さんが拷問死したのがこの場所でした。

その後、西大門刑務所跡を訪問して、植民地時代から軍事独裁政権時代までのパネル展示などを見学しました。

8月15日は、朝鮮戦争時に韓国軍により民間人虐殺が行われた現場を訪問しました。戦争当初、南下する朝鮮人民軍が各所に人民委員会を組織しました。その後、米軍が仁川から上陸して、米・韓軍が反撃を開始、再びこの地を占領した韓国軍は人民委員会に協力したと思われる民間人を容赦なく虐殺しました。

その後、イムジン閣を訪問して軍事境界線を間近に確認しました。朝鮮と鉄道で往来の窓口になる韓国側の「都羅山(トラサン)駅」を訪問、朝鮮半島の平和と統一の願いを寄せ書きに書きました。午後には非武装地帯にある「6・15りんご農園」を訪問して昼食をいただきました。



▲大雨の中、デモ行進をする訪韓団メンバー

そして、ソウル市庁前広場で開催された「主権回復と朝鮮半島平和実現のための8・15汎国民大会」に参加しました。大雨にもかかわらず広場には1万人を超える人たちで埋まり盛り上がり、「軍事演習を中止しろ!」「平和協定を締結しろ!」などのシュプレヒコールが響きました。大会の最後には、駐韓米国大使館前までデモを行い「米国の戦争政策に反対!」など訴えました。この集会で日本からの訪韓団が紹介され、平和フォーラム勝島事務局長が代表して連帯アピールを行いました。日韓平和連帯として本年は、6月の国際会議に続いて2回目の訪韓です。朝鮮半島の南北平和統一と平和協定の早期実現に向け取り組んでいきます。



## 「朝鮮高級学校無償化裁判」大阪勝利判決の歴史的意義 人間の誇りを取り戻す！

### 朝鮮高級学校の無償化を求める連絡会・大阪事務局長 長崎由美子

大阪地裁は7月28日、大阪朝鮮学園が提訴した高校無償化を朝鮮高級学校に指定しなかった処分を取り消し、大阪朝鮮高級学校を高校無償化対象とするよう命じる原告側勝訴の判決を下しました。今回の勝訴の意義などについて、無償化連絡会・大阪事務局長の長崎由美子さんに書いて頂きました。

7月28日、大阪地裁は大阪朝鮮学園が提訴した高校無償化を朝鮮高級学校に指定しなかった処分を取り消し、大阪朝鮮高級学校を高校無償化対象として義務付けることとし全面勝訴した。同じ無償化裁判が広島で19日、全面敗訴の不当判決があり、勝利を信じつつも、緊張していた大法廷は大歓声と嬉し泣きで沸き立った。チマチョゴリの白い制服で抱き合い、飛び上がる女生徒らに人間の誇りを取り戻す姿を見る思いがした。

思い起こせば2012年4月17日から257回大阪府庁前で朝鮮学校補助金復活と高校無償化を求め火曜日行動を続けてきた。どんなに雨が降ろうと、炎天下でも街頭でマイクを持ち訴え続けた日々が蘇る。韓国から金福童(キム・ボットン) ハルモニ(お婆さん)、尹美香(ユン・ミヤン)さんからも励ましを頂いた。朝鮮学校の生徒たちが火曜日行動に参加して冷たく拒否され、涙ぐむ姿に胸をえぐられる思いがしていた。勝訴判決が出た翌週の火曜日行動で朝高生が「自分たちの存在が初めて日本から認められた気がした」と語ったように、この判決は子どもの学ぶ権利、民族教育の歴史も認めた歴史的意義のある判決である。

高校無償化裁判を振り返ると、2010年に民主党政権が全ての子どもたちに高等教育を保障すると施行した「高校無償化法」が朝鮮学校のみ適用されず、安倍政権で「高校無償化法」から朝鮮学校対象の規定を削除して朝鮮学校を排除した。

大阪では橋下前大阪府知事により、朝鮮学校補助金が大阪府の突きつけた4要件を守ったにもかかわらず、学生の迎春公演参加を理由に2010年3月29日から停止している。私たちは2012年3月1日に「朝鮮高級学校の無償化を求める連絡会・大阪」を結成し、弁護団、朝鮮学園保護者、日本人支援者の3者で活動を進めてきた。2012年9月に補助金停止裁判を、2013年1

月に国へ無償化裁判を提訴した。

今回の無償化裁判判決では、国が「無償化法」から朝鮮学校を対象となる「規定ハ」を削除したのは「下村文科大臣の拉致問題と絡めて朝鮮学校無償化反対発言、外交上の配慮によって判断しないとの統一見解廃止を観ても外交上の理由であり、無償化法の趣旨である教育の機会均等を逸脱し、違法である」とした。また大阪朝鮮高校が就学支援金を適正に学校運営に当てないおそれがあると不指定にしたことも「根拠はない」と退けた。国



▲長崎由美子さん

側が朝鮮総連との関係を問題としたことにも「在日朝鮮人教育に朝鮮総連が関わることは、朝鮮学校の成り立ちを観れば当然のことであり、さらに民族教育に祖国の言語、文化、歴史を肯定的に学ぶことは当然である」と認めた。当事者の声を誠実に聞き、偏見なく証拠を検証すれば出る当然の判決であるが、1月26日の補助金裁判や広島無償化判決では、行政差別を後押しする不当判決が出されている。

朝鮮学校とは戦後奪われた母国語を学ぶ国語教習所として始まり、GHQによる解散命令や、日本による弾圧政策を受けながらも、在日朝鮮人の民族教育をしてきた学校である。私は、2002年から生野区で「朝鮮学校を支える会」を作り、公開授業の協力や、行政への権利獲得交渉などに取り組んできた。

私の朝鮮学校を支える原点は、保育士時代の民族保育にある。在日園児が70%を越える保育園で、韓国・朝鮮の言葉文化を保育に取り入れた時の在日園児たちの輝きは、有りのままの自分が認められる輝きだった。ぜひ皆さんも一度地域の朝鮮学校を訪問し、人間の誇りを持ち明るい子どもたちに出会って欲しい。そして、その笑顔を奪う日本の差別の理不尽さに声を挙げようと呼びかけたい。

## ◆◆お店紹介◆◆

## 本場韓国キムチの店「多味」

読者の皆さん。許景民(ホ・ギョンミン)韓統連大阪本部副代表委員が本場韓国キムチの店「多味」を開きました。

オープンしたのは昨年6月、場所は地下鉄谷町線「駒川中野」駅下車徒歩10分、活気あふれる駒川商店街にあります。

許副代表は、お店の名前「多味」の意味について「いろいろな味を楽しんでもらいたいという想いから」と話してくれました。

そうしたお店にはキムチ・ナムルだけでなく、チャンジャ(タコ・ホタルイカなど)・蒸し豚・豚足・エゴマの葉、冬場はケジャン(生のワタリガニなどをタレに付け込んで熟成させた料理)など種類豊富な韓国반찬(パンチャン・おかず)が店頭に並んでいます。また本場韓国から仕入れた機材で作る통닭(トンタク・鶏の丸焼き)

も人気です。料金はお手頃価格の300円～500円。お店では韓国冷麺・鶏のお粥定食・黒ニンニクカレー定食などの食事もできます。

「お店に行きたいけど少し遠いなあ」と思われる方は宅配が便利。5000円以上お買い上げの方

は送料無料。お店で「チャジュ(自主)見たよ」と言って頂いた方は10%割引します。

「手頃な値段で美味しい韓国반찬(パンチャン)」をモットーに頑張っています。皆さん、ぜひ一度「多味」にお越し下さい。



住所：大阪市東住吉区駒川4-16-9

営業時間：午前10時～午後7時

TEL・FAX：06-4977-0118

定休日：火曜日

## ◆◆行事案内◆◆

## 日朝ピョンヤン宣言から15年

## 日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会

日時：9月15日(金) 午後6時 開場  
午後6時30分 開会

場所：エルおおさか606会議室

京阪・地下鉄「天満橋」駅下車徒歩7分

内容：講演「最近の朝鮮半島情勢と

日朝関係の展望」

講師：康宗憲さん(韓国問題研究所所長)

資料代：800円

主催：日朝市民連帯・大阪 TEL090-8209-0848

## 10・4宣言10周年記念

## 平和と統一のためのつどい

日時：10月1日(日) 午後2時～午後5時

場所：KCC会館5階ホール

地下鉄「今里」駅下車徒歩10分

内容：金昌五さんによるトークライブ

永久のり子とキョレサランによるアンサンブル

ゆしんさん、川口真由美さんによるコンサート

参加費：500円

主催：同実行委員会 TEL06-6711-6377

## 編集後記

12年ぶりの韓青故国訪問団、大きな成果を得ることができ、私もうれしいです。来年は韓青だけでなく、韓統連故国訪問団として故国を訪問したいです。私は何年ぶりかな? (ソン)

